

## 1. 新たな取組

### 鶴岡ガストロノミックイノベーション計画

計画期間：令和7年度～16年度の10年間

<交付金対象期間：R7～R11>

事業費：約22億円（R7予算：4.4億円）

- 令和7年1月、内閣府の「地方大学・地域産業創生交付金事業」に「鶴岡ガストロノミックイノベーション計画」が採択
- 食文化創造都市鶴岡に、山形大学と慶應義塾大学との連携により、ガストロノミックイノベーションを主導する研究開発拠点を構築し、そこから生まれる革新的な新食材や技術の活用により産業の創出を図る。

#### 直近の動き

##### 6/1 鶴岡ガストロノミックイノベーション研究所の発足

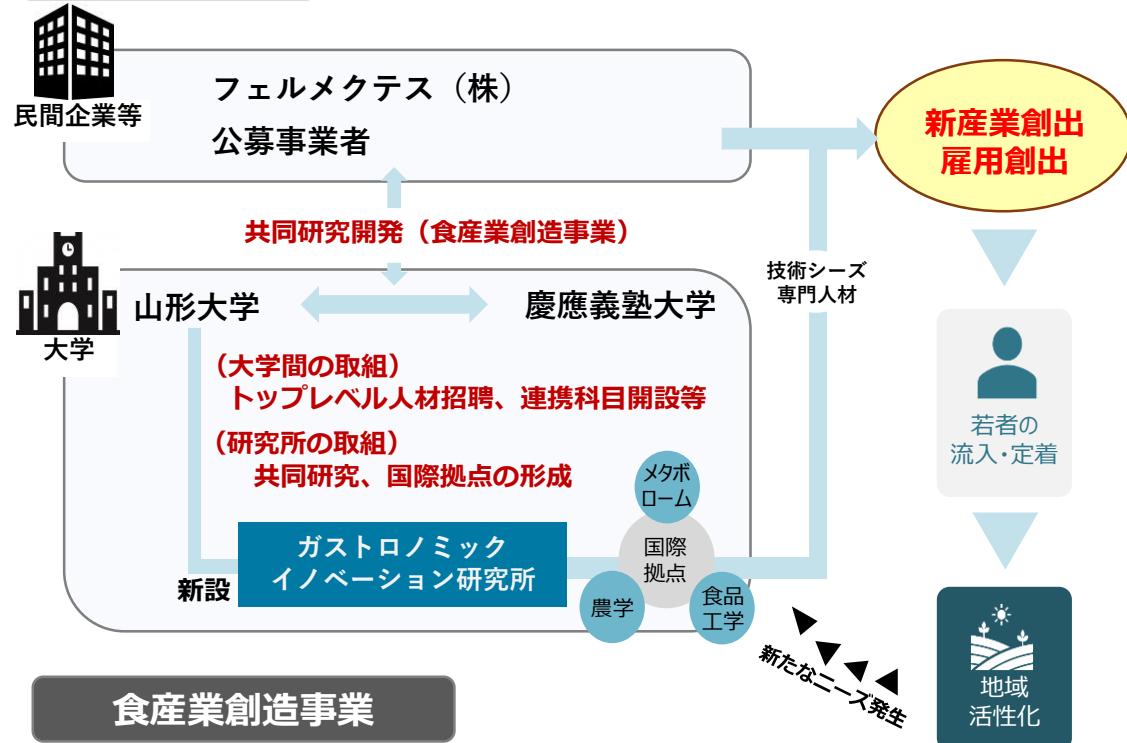
- ➡ 山大・慶應大の強みを活かし、新しい食産業・食文化創造に取り組む

##### 6/9 企業と大学による共同研究開発「食産業創造事業」

#### のエントリー募集を開始

- ➡ 新食材や高付加価値食品等の開発を目指す企業を支援

### 事業イメージ



### 食産業創造事業

#### 助成対象事業

1

##### 新食材開発

動物性・植物性に代わる  
「第三のタンパク源」の開発など



#### 事業例

・納豆菌紺の大量生産方法  
の開発とブランド化

2

##### 高付加価値食品開発

メタボローム解析から試作までの  
大規模・一貫工程による地元農畜産物の新商品開発など



#### 事業例

・ワイン用ぶどうの栽培から醸造  
までの包括的な解析、商品化

3

##### 食関連技術等開発

地域循環型アップサイクル農業  
の確立、IoT技術を活用した生  
産効率改善技術の開発など



#### 事業例

・IoTを活用した肉用鶏飼養技術  
の開発

助成対象者：鶴岡市内における雇用創出が見込まれる事業を行う者 \*市外の企業も応募可

共同研究機関：山形大学 又は 慶應義塾大学と共同研究を行うことが条件

助成対象経費：研究開発に要する経費（人件費、旅費、設備・物品費、その他）

助成率：4/5 \*助成額には上限を設げず、事業の効果等に応じて個別に決定

# 鶴岡市のバイオクラスター形成に向けた取組について②

## 2. ベンチャー企業との協力体制

### 鶴岡市 × サリバテック

- だ液 1滴でできるがんリスク検査『サリバチェック®』  
鶴岡市のふるさと納税の返礼品として提供
  - ▶ 寄附実績 延1,046件／4,184万円  
(R2～R7.8時点)
- 莊内病院の人間ドック受診者向けのオプションとして  
サリバチェックによる「がんリスク検査」を実施
  - ▶ 検査実績 延659件 (R1～R7.8時点)



SalivaTech  
2020年9月1日

報道関係者各位

最先端のバイオテクノロジー研究が進む山形県鶴岡市  
唾液1滴がんリスク検査「ふるさと納税返礼品」として提供開始



### 鶴岡市 × メタジェンセラピューティクス

令和6年12月

MGTx社と莊内病院が連携協定を締結

令和7年4月

莊内病院に「腸内細菌ドナー外来」を開設

日本初の献便施設「つるおか献便ルーム」を  
サイエンスパーク内に開設

莊内病院 献体（献便）提供者の適格性を判定

MGTx社 つるおか献便ルームで献便を実施

▶ ドナー希望者400人以上



つるおか献便ルーム (HPより)



開所式テープカットの様子

# 鶴岡市のバイオクラスター形成に向けた取組について③

## 3. その他の取組

### 新産業用地の開発

- ・バイオベンチャー企業の研究開発、事業化の加速化を支援

#### 鶴岡市新たな産業団地 エントリー企業募集 ～鶴岡西工業団地隣接地～



##### 【新たな産業団地の特徴や強み】

1. サイエンスパークや既存工業団地に近接する優れた産業立地環境
2. 鶴岡ICや庄内空港、鶴岡駅などへの好アクセス
3. 多様な人材を輩出する4つの高等教育・研究機関

### 鶴岡サイエンスパークまつり

- ・令和6年11月2日（土）第2回目を開催
- ・鶴岡サイエンスパークを一般開放し、研究内容や取組・研究がもたらす未来に触れることができる市民向けイベント
- ・約1,500名が来場
- ・**令和7年11月1日（土）開催**



鶴岡サイエンスパークまつりの様子